

本時のねらい

文章問題を、連立方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解できるようにする。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・生徒同士の意見の交流から、様々な考え方を知ることができるようにする。
- ・班でタブレットを用いて立てた式を共有し、生徒同士が教え合うことで、様々な習熟度の生徒が式を立てることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ iPad
- ・ テレビモニター
- ・ ロイノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーミングアップ ・プリントのドリル学習をする。 	
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された問題に対して、式を立てる。 ・立てた式についてタブレットを用いて班で意見交流をする。 ・班で良いと考える式を1つ選ぶ。 ・選んだ式をクラスで共有する。表を用いて情報を整理しながら式の立て方を確認したのち、数字を変えて追加の演習問題2問の式を立てる。 ・班で立てた式を確認し、全員が式を立てることができるようにする。 ・立てた式を解いていく。 ・2問の連立方程式について答え合わせをする。それぞれの解が問題に適しているかを確認する。 ・方程式を使って問題を解く手順についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習班で、お互いの立てた式を写真に撮って送り合うことで、様々な考え方を知ることができるようにする。 ● 演習問題をタブレット上で取組む。 ● 書く・消すができるので、自分の考えを表現しやすい。 ● 難易度別の問題を用意し、タブレットで配信する。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・練習用の問題を1問解く。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 解き終えたものを写真に撮って送らせる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1: 学習班で送り合った解き方を見ながら、意見交流している場面。



写真2: 考え方を整理して、式を立てている場面。



写真3: 自分が選んだ難易度の問題を解いている場面。

児童生徒の反応や変容

- ・一人ひとりが立てた式について、生徒同士で積極的に話ができていた。他の人の意見を知って、互いに新しい発見があった。
- ・難易度のちがう問題を、生徒自身が選び、習熟度に合った課題に取り組むことで、今日の授業での学びを確認することができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・生徒が説明する機会をつくることのできるため、iPadで情報共有できたのは良かった。
- ・学習班での話し合いの場面では、班によってiPadを使う班もあれば、プリントでおこなう班もあり、その方法自体を選べるということが、個に応じた学びの形であると感じた。